

事業評価書

補助事業名	北海道大演習場（島松着弾地及び島松地区に限る。）関連公共用施設（消防に関する施設：消防用資器材購入）整備事業						
補助事業者名	恵庭市						
実施場所	恵庭市消防本部（恵庭市有明町2丁目4番14号）						
補助事業の成果の目標	消防用資器材は、各種災害活動において消防がその任務を安全・迅速かつ的確に遂行するために必要不可欠であるところ、耐用年数の経過による故障や修理部品の供給停止は、消防力の維持・充実に大きく影響するものである。そこで、資器材整備により、消防活動の安全、技術向上及び維持を図ると共に、各種災害に対する消防力を充実強化し、市民の安心と安全に資する。						
補助事業の内容	大型油圧切断機、熱画像直視装置						
補助事業の始期及び終期	平成30年8月～平成30年12月						
事業費及び交付金額		平成29年度 まで	平成30年度	平成31年度 予定	平成32年度 予定	平成33年度 予定	計
	事業費	円 7,809,480	円 3,233,520	円	円	円	円 11,043,000
	交付金額	円 6,955,000	円 2,956,000				円 9,911,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業により、震災等の大規模災害を想定した訓練が可能となり救助活動の質の向上ができた。救助隊員に聞き取り調査を実施した結果、「大型油圧切断機と前年度同事業で導入した大型油圧スプレッターを併用することで、活動が迅速化し範囲も広がった。」「熱画像直視装置では解像度が良くなったことにより、火災現場での状況確認が容易になった。」など活動体制の強化によって市民の安心・安全が図られた。</p> <p>なお、更新資器材が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨、市ホームページ、消防庁舎内掲示板及び広報誌に記載し、本事業に係る地域住民への周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も消防体制の状況をみながら、計画的に事業を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	北海道大演習場（島松着弾地及び島松地区に限る。）関連公共施設（消防に関する施設：消防団資器材購入）整備事業						
補助事業者名	恵庭市						
実施場所	恵庭市消防本部（恵庭市有明町2丁目4番14号）						
補助事業の成果の目標	<p>従来からの消火活動に加え、近年、頻発している豪雨災害や地震災害等の多種多様な災害に対応するため、消防団の装備基準に示された活動服を整備することにより消防団装備の充実強化を図るものである。</p> <p>これにより、団員の迅速、安全、確実な任務遂行につながり、地域住民の安心安全な暮らしの維持を目的とする。</p>						
補助事業の内容	消防団活動服 105着						
補助事業の始期及び終期	平成30年6月～平成30年10月						
事業費及び交付金額		平成29年度	平成30年度	平成31年度 予定	平成32年度 予定	平成33年度 予定	計
	事業費	円	円 2,381,400	円	円	円	円 2,381,400
	交付金額		円 2,245,000				円 2,245,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>消防団員へ聞き取りを行ったところ、「難燃性能を有した活動服が整備されたことにより、消火活動の際の活動範囲が増える」「活動しやすくなった」といった評価が得られ、消防団の装備充実強化により地域住民の安心安全な暮らしの維持に寄与することができた。</p> <p>なお、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を市ホームページ、市広報誌及び庁舎掲示スペースへ掲載したことにより、地域住民への周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	消防団資器材の維持管理に努めるとともに、多種多様化する災害に対応できるよう消防団装備の充実強化を図り、市民の安心安全に資する消防事業を推進したい。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	北海道大演習場（島松着弾地及び島松地区に限る。）関連公共施設（消防に関する施設：消防広報車更新）整備事業						
補助事業者名	恵庭市長						
実施場所	恵庭市消防本部（恵庭市有明町2丁目4番14号）						
補助事業の成果の目標	<p>当該車両は平成6年に整備され、23年が経過し経年による劣化が顕著であり、現在はアイドリングの不調により運用に支障をきたす恐れがあり、使用に際して制限を設けている。また、部品の生産終了により故障の際の修理が不可能となることが危惧されている。消防広報車は一般業務から災害対応まで幅広く消防行政に使用されることから、当該車両の更新整備により消防施設の充実強化を図り、市民の生命、身体及び財産の保護に寄与することを目的とする。</p>						
補助事業の内容	消防広報車 1台						
補助事業の始期及び終期	平成30年8月～平成30年10月						
事業費及び交付金額		平成29年度	平成30年度	平成31年度 予定	平成32年度 予定	平成33年度 予定	計
	事業費	円	円 5,140,800	円	円	円	円 5,140,800
	交付金額		円 4,679,000				円 4,679,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>消防本部職員に対して更新整備による有効性と効果を開き取りを実施し、これまで旧車両の経年劣化によるアイドリング不調に係る運用制限がなくなったことによって通常の運用体制を敷くことが可能となり、消防施設の充実が図られ、市民の生命、身体及び財産の保護に寄与していることが確認された。</p> <p>また、当該消防広報車が調整交付金による事業である旨を車体への文字入れ、市ホームページ、市広報誌及び庁舎掲示スペースへ記載したことにより、本事業に係る地域住民への周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	多種多様化する災害に対応できるよう、市民の安心安全に資する消防事業を推進したい。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	北海道大演習場（島松着弾地及び島松地区に限る。）関連公共用施設（交通施設：柏木西7番線外3改良舗装）整備事業						
補助事業者名	恵庭市						
実施場所	恵庭市柏木町1丁目、有明町4丁目						
補助事業の成果の目標	当該路線は、地域住民が利用する生活道路として使用されているが、未改良道路であり路面破損、砂塵発生等が著しく周辺住民の生活環境に影響を与えていることから道路整備を要する状況にある。 このため、本事業の実施により、路面破損、砂塵発生等を防止し、周辺住民の生活環境を改善する。						
補助事業の内容	改良舗装工事 L=1383.78m W=3.5m、5.5m						
補助事業の始期及び終期	全 体：平成26年度～平成30年度 本年度：平成30年7月～平成31年1月						
事業費及び交付金額		平成29年度 まで	平成30年度	平成31年度 予定	平成32年度 予定	平成33年度 予定	計
	事業費	円 111,135,000	円 91,657,566	円 0	円 0	円 0	円 202,792,566
	交付金額	106,900,000	84,000,000	0	0	0	190,900,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	本路線を改良舗装することで、路面破損、砂塵発生等の防止が図られたことにより、通行者の安全性が確保されるなど生活環境が改善された。 また、本事業が防衛省の交付金事業であることを、工事施工に伴い地域住民に配布する「工事のお知らせ」及び工事看板に記載し、周知を図った。 工事完成後、住民から環境が良くなり通行しやすくなったとの声が聞かれた。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も施設の定期的な点検整備、改修等を行い、適正な維持管理・運営に努める。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	北海道大演習場（島松着弾地及び島松地区に限る。）関連公共用施設（交通施設：道路維持管理車購入）整備事業						
補助事業者名	恵庭市						
実施場所	恵庭市役所（恵庭市京町1番地）						
補助事業の成果の目標	<p>当該車両は道路の機能を保全するためパトロールを実施し、道路の損傷、汚染箇所の早期発見のほか、占用物に対する監察・指導や不法占用物の撤去など、機動的な道路管理体制を確立し、市内全域における適正な道路管理の実現により地域住民の生活環境の維持を図るものである。</p> <p>よって、老朽化した道路維持管理車の代替車を購入することで道路維持管理等を適切に行い、市内の道路環境を良好な状態にし、地域住民の生活環境を維持する事を目指す。</p>						
補助事業の内容	道路維持管理車 1台						
補助事業の始期及び終期	平成30年8月～平成30年10月						
事業費及び交付金額		平成29年度	平成30年度	平成31年度 予定	平成32年度 予定	平成33年度 予定	計
	事業費	円	円 2,581,200	円	円	円	円 2,581,200
	交付金額		円 2,500,000				円 2,500,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>担当職員から聞き取りを行ったところ、「これまでの車両より運転席からの見通しが大変良い」「長尺もの資機材の積込・荷降ろしが容易であり、回収・収集量が大幅に増え、作業効率が向上した」といった評価が得られ、地域住民の生活環境の維持に寄与した。</p> <p>なお、地域住民への周知として、本事業が当調整交付金による事業であることを車両側面へ記載し、また市ホームページに掲載した。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも地域住民の交通の安全を確保するため、迅速かつ適切に道路維持管理作業等を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	北海道大演習場（島松着弾地及び島松地区に限る。）関連公共用施設（教育文化施設：恵庭市立学校電子黒板）整備事業						
補助事業者名	恵庭市						
実施場所	島松小学校（恵庭市中島松4-1-8） 柏小学校（恵庭市文京町3-3-3） 恵み野小学校（恵庭市恵み野南4-1-1） 恵明中学校（恵庭市黄金北4-1-1）						
補助事業の成果の目標	<p>電子黒板整備事業は、ICT機器に慣れ親しみ、機器を活用しながら、課題を解決するための思考力・判断力・表現力を身に付けるとともに、自ら課題を発見・設定し、その解決に向けて主体的・協働的に探究していく態度を育むための、ICT教育の学習環境を整えることを目的としている。</p> <p>今年度は同事業の3年目であり、小学校3校、中学校1校を対象として電子黒板を各教室に整備し、日常的に使用できる環境を整備することで、児童生徒への学習環境を整備する。</p>						
補助事業の内容	モニター型電子黒板 63台 ほか						
補助事業の始期及び終期	<p>全体：平成28年度～平成31年度</p> <p>本年度：平成30年6月～平成30年10月</p>						
事業費及び交付金額		平成29年度 まで	平成30年度	平成31年度 予定	平成32年度 予定	平成33年度 予定	計
	事業費	円 64,400,400	円 58,244,400	円 68,303,520	円 0	円 0	円 190,948,320
	交付金額	円 58,934,000	円 55,400,000	円 61,474,000	円 0	円 0	円 175,808,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>全普通教室及び特別支援教室・特別教室へ電子黒板を整備したことにより、日常的に電子黒板を活用できる環境となり、デジタル教材の活用、効果的な場面での資料拡大表示、児童生徒の意見の比較表示等、授業内容に合わせた工夫した活用をすることで学習環境の向上が図られた。教師からは「パソコンも一緒に整備されたため、接続に時間をとられず、すぐに授業に入ることができる」「若手教職員が中心となって使用法を研究・伝達し、授業に役立てている」などの評価が得られた。</p> <p>なお、本事業が当調整交付金による事業である旨を以下に記載し、地域住民並びに学校児童・生徒への周知を図った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 電子黒板本体 2) 市ホームページ、各学校ホームページ 						
事業の改善措置及び今後の対応	ICT教育環境は日々変化しているため、子どもたちが適切な情報活用能力を身に付けることができるよう、時代に即した有用な機器であるか不断に見直していく。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	北海道大演習場(島松着弾地及び島松地区に限る。)関連公共施設 (教育文化施設:小中学校給食センター厨房機器更新) 整備事業						
補助事業者名	恵庭市長						
実施場所	恵庭市小学校給食センター (恵庭市北柏木町3丁目129) 恵庭市中学校給食センター (同上)						
補助事業の成果の目標	<p>本センターは、年間約200日稼動し市内8小学校5中学校へ通学する児童・生徒、教職員に6,000食以上の学校給食を提供している。</p> <p>小学校センターは平成元年、中学校センター平成13年の開設以来、同じ機器を継続して使用していることから、劣化が進行しており効率的な調理作業が阻害されている。このことから老朽化した機器を計画的に更新することにより、安心・安全な学校給食の提供を図るものである。</p>						
補助事業の内容	塵芥処理機 1台 ほか						
補助事業の始期及び終期	平成30年7月～平成30年10月						
事業費及び交付金額		平成29年度	平成30年度	平成31年度 予定	平成32年度 予定	平成33年度 予定	計
	事業費	円	円	円	円	円	円
	交付金額		12,258,000				12,258,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>担当職員に聞き取りを行ったところ、「制御システムの機能が向上し、細かな設定ができるようになり作業効率が向上した」「野菜くずを細かく粉砕できるようになり処理にかかる負担が軽減された」といった評価が得られ、調理作業の向上が図られた。</p> <p>なお、地域住民並びに児童・生徒への周知として、本事業が当調整交付金による事業であることを市ホームページ及び保護者に配布する給食だよりに掲載した。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	引き続き衛生管理に努めながら、効率的な設備の運用と管理に努める。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	北海道大演習場（島松着弾地及び島松地区に限る。）関連公共施設（教育文化施設：柏小学校、恵庭中学校教育用コンピュータ機器購入）整備事業						
補助事業者名	恵庭市						
実施場所	柏小学校（恵庭市文京町3-3-3） 恵庭中学校（恵庭市文京町3-4-5）						
補助事業の成果の目標	<p>本事業は、すべての子どもたちがICT機器の活用に慣れ親しみながら情報を主体的に活用できるよう、必要なコンピュータ機器を整備し、学習環境を整えることが目的である。</p> <p>今回は、コンピュータ教室の老朽化した機器を更新することによって、経年劣化による学習への障害を防ぎソフトウェア等の充実を図ることと、日進月歩で進化しているICT教育の学習環境を時代に合った適切なものに整備することに重点を置く。</p>						
補助事業の内容	タブレット型パソコン82台ほか						
補助事業の始期及び終期	平成30年8月～平成30年9月						
事業費及び交付金額		平成29年度	平成30年度	平成31年度 予定	平成32年度 予定	平成33年度 予定	計
	事業費	円	円	円	円	円	円
	交付金額		20,615,000				20,615,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>教師に聞き取りを行ったところ、「タブレットになり持ち運びが容易となったため、パソコン教室でもグループ学習を簡単に行えるようになった」「児童が新しい機器に興味を示し、積極的に触れるようになった」などの評価が得られ、ICT教育の学習環境充実が図られた。</p> <p>なお、本事業が当調整交付金による事業である旨を以下に記載し、地域住民並びに学校児童への周知を図った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) タブレット型パソコン本体 2) 市ホームページ、柏小学校ホームページ、恵庭中学校ホームページ 						
事業の改善措置及び今後の対応	今後においても適切に整備する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	北海道大演習場（島松着弾地及び島松地区に限る。）関連公共施設（教育文化施設：恵明中学校放送機器）整備事業						
補助事業者名	恵庭市						
実施場所	恵明中学校（恵庭市黄金北4-1-1）						
補助事業の成果の目標	<p>老朽化により日常の学校運営に支障をきたす恐れのある放送機器を更新し、またデジタル化に対応することで、放送コンテンツの多様化等を図るとともに利便性を向上し、校内環境を整備する。</p> <p>なお、本事業は、平成5年度から平成17年度にかけて調整交付金で整備したアナログ放送機器を更新計画（平成25年度から平成37年度で実施）によりデジタル対応の放送機器に更新するものであり、今年度整備するのは平成10年度に整備したものである。</p>						
補助事業の内容	デジタルAV調整卓他						
補助事業の始期及び終期	平成30年6月～平成30年8月						
事業費及び交付金額		平成29年度	平成30年度	平成31年度 予定	平成32年度 予定	平成33年度 予定	計
	事業費	円	円 12,398,400	円	円	円	円 12,398,400
	交付金額		11,655,000				11,655,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>生徒・教員への聞き取りを行った結果、「体育館での催し物を教室のモニターで見ることができた」、「カメラとPCの画像を切り替えて放送することが容易となった」、「操作がタッチパネル式となったことで操作が簡略化された」との評価が得られており、利便性の向上や放送活動の充実が図られた。</p> <p>なお、地域住民並びに学校生徒への周知として、本事業が当調整交付金による事業であることを各放送機器本体へ記載し、市ホームページ及び中学校ホームページへ掲載した。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も適切な管理を行いながら、計画的に事業を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	北海道大演習場（島松着弾地及び島松地区に限る。）関連公共施設（消防に関する施設：消火栓設置）整備事業						
補助事業者名	恵庭市						
実施場所	恵庭市島松寿町2丁目28番7号付近 ほか9か所						
補助事業の成果の目標	<p>本市には786基の公設消火栓があり、概ね50年が経過した消火栓においては経年劣化による破損が著しく、部品の調達が困難となっている。</p> <p>そこで、初期消火活動の遅延による火災延焼拡大を防止し、市民の安全な生活を維持するため、正常な消火栓の設置による消防水利の確保を目標とする。</p>						
補助事業の内容	<p>全体：消火栓 70基</p> <p>本年度：消火栓 10基</p>						
補助事業の始期及び終期	<p>全体：平成23年度～平成37年度</p> <p>本年度：平成30年10月～平成30年11月</p>						
事業費及び交付金額		平成29年度 まで	平成30年度	平成31年度 予定	平成32年度 予定	平成33年度 以降予定	計
	事業費	円	円	円	円	円	円
	交付金額	27,550,000	4,600,000	8,000,000	8,000,000	40,000,000	88,150,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>定期的な消火栓機能検査（本体に圧力をかけて漏水等を確認）・水抜き（地下埋設部分）を実施したことにより、消火栓機能が適切に更新・維持されていることが確認され、市民の安全な生活の維持に必要な消防水利の確保が図られた。</p> <p>また、当該消火栓が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を消火栓に付着する「標識ポール」に明記するとともに市ホームページへ掲載することにより、本事業に係る地域住民への周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	<p>今後においても火災時における消防水利施設として、更新整備した消火栓の維持管理を適切に行うとともに、計画的に消火栓の整備も実施する。</p>						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	北海道大演習場(島松着弾地及び島松地区に限る。)関連特定事業 (環境衛生に関する事業: 火葬場火葬炉改修工事)						
補助事業者名	恵庭市						
実施場所	恵庭市西島松248-1						
補助事業の成果の目標	<p>本施設は、墓地、埋葬等に関する法律第2条第7項の規定に基づく市内唯一の火葬場として平成6年に供用開始となり、住民の利用に供されている重要な公共用施設であるが、経年により老朽化が進んでおり、計画的に各設備の改修を実施している。</p> <p>火葬件数が増加傾向にある中、火葬炉等の劣化が進んでおり、不具合が発生する危険がある状況となっていることから、本年度に改修工事を行うことで施設の適切な維持、管理をする。</p>						
補助事業の内容	火葬場火葬炉改修工事一式						
補助事業の始期及び終期	平成30年10月～平成31年3月						
事業費及び交付金額		平成29年度	平成30年度	令和元年度 予定	令和2年度 予定	令和3年度 予定	計
	事業費	0	6,696,000	0	0	0	6,696,000
	交付金額	0	6,189,000	0	0	0	6,189,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>火葬炉改修工事後に当該火葬炉及び耐火ベットの使用状況等を指定管理者へ意見聴取を行なった結果、順調に稼動しており、火葬業務を円滑に行うことができているとの報告があった。</p> <p>また、当該改修工事が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を以下に記載し、本事業に係る地域住民への周知を図った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 市ホームページへ掲載 2) 火葬炉改修工事期間における工事看板に表示 						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も適切な維持管理を行う。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	北海道大演習場（島松着弾地及び島松地区に限る。）関連公共施設（教育文化施設：スクールバス購入）整備事業							
補助事業者名	恵庭市							
実施場所	恵庭市中央423-1							
補助事業の成果の目標	<p>当市が保有するスクールバスについては、経年劣化が著しく、スクールバスの安定的な運行に支障をきたしている状況であることから、当該車両を順次更新することにより、児童生徒の通学環境の整備を図る。</p>							
補助事業の内容	スクールバス購入 3台							
補助事業の始期及び終期	平成29年2月～平成32年3月							
事業費及び交付金額		平成29年度 まで	平成30年度	令和元年度 予定	令和2年度 予定	令和3年度 予定	計	
	事業費	円 14,364,000	円 15,994,800	円 14,580,000			円 44,938,800	
	基金造成額	交付金	37,711,000	7,100,000				44,811,000
		市町村費等						
		その他						
		運用益	13,126	1,708	4,810			19,644
		計	37,724,126	7,101,708	4,810			44,830,644
		基金処分額	14,364,000	15,994,800	14,471,844			44,830,644
	基金残額	23,360,126	14,467,034	0	0	0	/	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業を実施し、老朽化した車両を更新したことで、車両の異常による停車などの不安が解消され、安定的な運行が行われるようになった。また、保護者に聞き取りを行ったところ、「新しい車両に変わり安定的な運行がされることで安心感が増した」といった評価が得られ、児童生徒の通学環境の整備が図られた。</p> <p>なお、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を以下に記載し地域住民への周知を図った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 車両本体に標記 2) 市ホームページへの掲載 3) 市広報誌への掲載 4) 庁内掲示板に掲示 							
事業の改善措置及び今後の対応	今後においても適切に整備する。							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

事業評価書

補助事業名	北海道大演習場（島松着弾地及び島松地区に限る。）関連公共用施設（環境衛生施設：ごみ破砕機購入）整備事業						
補助事業者名	恵庭市						
実施場所	恵庭市ごみ処理場（恵庭市盤尻255番地の4）						
補助事業の成果の目標	ごみ破砕機を整備することにより、ごみ処理場へ搬入されたごみの減容化を図る。						
補助事業の内容	ごみ破砕機 1台						
補助事業の始期及び終期	平成30年12月～平成31年3月						
事業費及び交付金額		平成29年度	平成30年度	令和元年度 予定	令和2年度 予定	令和3年度 予定	計
	事業費	円	円	円	円	円	円
	交付金額		64,800,000				64,800,000
			45,360,000				45,360,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>ごみ破砕機導入後、ごみ処理場へ搬入されたごみの減容化を図ることができるようになった。</p> <p>委託管理先の従業員からは、「今まで減容化できていなかったスプリング入りベッドマットやソファなどの減容化ができるようになった」などの評価を得られた。</p> <p>なお、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を以下に記載し、地域住民並びに搬入事業者への周知を図った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 車両本体 2) 市ホームページ 						
事業の改善措置及び今後の対応	今後ごみ処理場に搬入されるごみの減容化を図り、供用中のごみ処理場の延命化を図れるよう適切に維持管理を行う。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	北海道大演習場（島松着弾地及び島松地区に限る。）関連公共施設（交通施設：定置式凍結防止剤散布装置購入）整備事業						
補助事業者名	恵庭市						
実施場所	黄金橋(恵庭市中島町)						
補助事業の成果の目標	<p>既存の凍結防止剤散布装置（まさえもんJr）は、黄金中島通（黄金橋）がカーブであり、スリップ事故発生危険が高い場所であるため、平成16年に設置された設備である（漁川左岸）。本設備は経年劣化により円滑な動作に支障を来していることから、早急な更新の必要に迫られている。</p> <p>このため、路面凍結防止剤の自動散布により道路の環境改善を図ることによって、地域住民の安全安心を維持する事を目指す。</p>						
補助事業の内容	定置式凍結防止剤散布装置 1台						
補助事業の始期及び終期	<p>全体：平成18年度～平成30年度</p> <p>本年度：平成30年12月～平成31年2月</p>						
事業費及び交付金額		平成29年度まで	平成30年度	平成31年度 予定	平成32年度 予定	平成33年度 予定	計
	事業費	円	円	円	円	円	円
	交付金額	61,074,180	7,869,960				68,944,140
		51,942,000	7,500,000				59,442,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業により新たな散布装置が設置されたことで、これまでの経年劣化による不安定な動作が解消され、さらに散布する凍結防止材が固形から液体に変更されたことにより、凍結路面への定着性及び即効性が向上し、迅速に凍結路面を解消できるようになったことから、当該散布装置が地域住民等の交通の安全に寄与している。</p> <p>なお、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業であることを市ホームページ及び機械本体に記載し、地域住民への周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	冬期間における道路利用者の凍結路面対策に対応出来るよう適切な維持管理に努める。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	北海道大演習場（島松着弾地及び島松地区に限る。）関連特定事業（防災に関する事業：はしご付消防ポンプ自動車）							
補助事業者名	恵庭市							
実施場所	恵庭市有明町2丁目4番14号							
補助事業の成果の目標	<p>現行車両は整備から約24年が経過し、経年による劣化に伴う災害対応時の突然の故障が懸念され、安定した消防活動が困難な状況にある。</p> <p>本車両の調達及び運用後の維持管理に係る経費をリースとすることで、単年度の財政負担を軽減し結果、消防力の維持安定と向上を図る。</p>							
補助事業の内容	はしご付消防ポンプ自動車更新整備 1台							
補助事業の始期及び終期	平成27年度～令和8年度							
事業費及び交付金額		平成29年度 まで	平成30年度	令和元年度 予定	令和2年度 予定	令和3年度 以降予定	計	
	事業費	円	円	円	円	円	円	
		34,035,120	29,172,960	29,172,960	29,172,960	170,175,600	291,729,600	
	基金造成額	交付金	76,752,000	48,502,000	3,000,000	29,173,000	134,142,000	291,569,000
		市町村費等						0
		その他						0
		運用益	31,487	15,814	22,931	13,274	75,418	158,924
		計	76,783,487	48,517,814	3,022,931	29,186,274	134,217,418	291,727,924
	基金処分額	34,035,120	29,172,960	29,172,960	29,172,960	170,173,924	291,727,924	
	基金残額	42,748,367	62,093,221	35,943,192	35,956,506	0	/	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>継続事業において適切な点検整備を行い、重大事故に繋がる故障や不具合の発生状況を把握することができ車両の安全性及び機能が確保され万全な消防体制に寄与している。</p> <p>また、隊員への聞き取りを行った結果、「運転操作の安全性が向上した」、「梯子操作の機能が向上したことにより迅速な救助活動が可能になった」などの評価が得られたことから、最新の車両で消防力は充実強化され、継続的な市民の安心安全を確保できるほか、長期的な運用計画を策定することも可能となり、様々な消防需要にも対応する体制の整備が図られた。</p> <p>当該はしご付消防ポンプ自動車が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を以下に記載し、地域住民への周知を図った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 車両本体に標記 2) 市ホームページへの掲載 3) 市広報誌への掲載 4) 庁内掲示板に掲示 							
事業の改善措置及び今後の対応	多種多様化する災害に対応できる様、市民の安心安全に資する消防事業を推進する。							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

事業評価書

補助事業名	北海道大演習場(島松着弾地及び島松地区に限る。)関連特定事業(教育、スポーツ及び文化に関する事業：恵庭プール防水シート改修工事)						
補助事業者名	恵庭市						
実施場所	恵庭水泳プール(恵庭市福住町2丁目9番13号)						
補助事業の成果の目標	本施設は、市民プールとして昭和43年に整備され、住民の体力向上に供されている公共用施設である。本施設では、経年によるプール防水シートの老朽化による補修が毎年発生しており、施設の運営に支障をきたす恐れがある。従って、これを改修し、安定的な施設環境の提供を図る。						
補助事業の内容	防水シート改修						
補助事業の始期及び終期	全体：平成29年度～平成30年度 今年度：平成30年10月～平成30年12月						
事業費及び交付金額		平成29年度	平成30年度	令和元年度 予定	令和2年度 予定	令和3年度 予定	計
	事業費	円 10,260,000	円 10,594,800	円	円	円	円 20,854,800
	交付金額	9,361,000	10,050,000				19,411,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	今シーズン(令和元年6月～8月)の業務日誌及び市民水泳プール保守点検管理業務における点検においても問題はなく、安定的な施設環境の提供を図ることが出来た。 なお、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を市ホームページ(本工事の実施及び完了のお知らせ)に掲載し、本施設の改修工事における工事看板に記載及び本施設の玄関に掲示し住民へ周知を図った。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も適切な管理を行い、住民の要望等を踏まえて計画的に事業を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						